

## 注射用メソトレキセート 5mg 供給再開遅れに伴う対応について

2009年3月3日

平成21年2月16日、日本病院薬剤師会から「注射用メソトレキセート 5mg 供給再開遅れに伴う注意喚起（医薬品安全管理責任者・薬剤部長宛）」が出されましたので、お知らせいたします。施設での対応については、医薬品安全管理責任者と相談の上、看護職と薬剤師の連携のもとに再度ご確認をお願いいたします。

### 日本病院薬剤師会からの注意喚起

「注射用メソトレキセート 5mg」の、バイアル内に薄い黒色の付着物ならびにゴム栓に毛髪の付着物が発見されたことから、昨年10月以降ワイス株式会社からの供給が一時停止され、「注射用メソトレキセート 50mg」を代替品として使用するよう対応がとられてきました。その後、供給再開時期の見込みが何度か変更となりましたが、今回、同社より供給再開の大幅な遅れの見込みが表明されました。50mg製剤の代替使用は緊急措置としてやむを得ないこととはいえ、50mg製剤を代替使用している施設に対して、代替使用に伴う医療事故を絶対に起こさないよう、医療機関内の関係職種へ情報提供を徹底して行うなど格段の注意を求めています。

日本病院薬剤師会「注射用メソトレキセート5mg供給再開遅れに伴う注意喚起」より一部を掲載いたします。詳細は下記日本病院薬剤師会ホームページからご覧下さい。

#### <代替使用に伴い発生が危惧される医療事故(過量投与)の例>

1. 使用バイアル数の間違い(5mg換算での本数違い)
2. 調製時の誤り(5mg製剤のつもりで溶解することによる高濃度溶液の発生等)
3. 調製後の過量抜き取り

#### <代替使用に伴う事故防止のための対応例>

1. 本剤が抗がん薬であることに鑑み、調製はできる限り薬剤部が行う
2. 薬剤部で調製することができない場合においては、代替使用を行う度に、代替使用に伴う上記医療事故発生防止のための情報提供(調製方法、使用量についての注意喚起等)を行う
3. 代替使用に伴う診療録、処方せん及び指示書の記載方法等については、臨時の手順書を作成するとともに臨時手順書の運用方法について院内で周知徹底を行う

※注意喚起の詳細は、下記「日本病院薬剤師会ホームページ」からご覧下さい。

「注射用メソトレキセート5mg供給再開遅れに伴う注意喚起」

<http://www.jshp.or.jp/cont/090216.html>